

奈良川源流域の植物 2018年5月



カモジグサ 芒の長い小穂が上下交互についた穂が垂れ下がる。



アメリカフウロ 5個の丸い種子の中央から槍状の突起が伸びる。葉は掌状に裂ける。



カラスビシャク 細長い仏炎苞の中から釣り竿のような付属体が伸びあがる。



ユキノシタ 白い5枚の花弁のうち、下側2枚が長くのびる。



オオスズメノカタビラ 花序枝が横に広がり、紡錘形の小穂が円錐状に多数つく。



コゴメツギ 葉は3角状で鋸歯があり、小さい5弁花が円錐状に咲く。